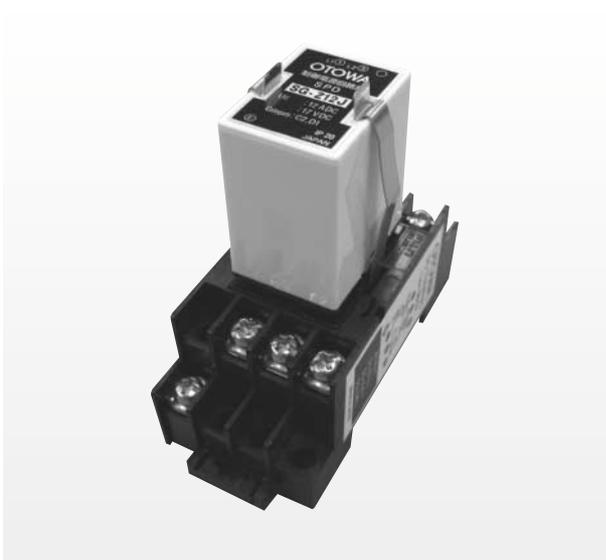


# SG-ZJシリーズ

JIS C 5381-21 対応

## 特長

1. IECカテゴリC2、D1に対応
2. インパルス耐久性  
C2 : 8 / 20 $\mu$ s 10kA (正負・各5回・計10回)  
D1 : 10 / 350 $\mu$ s 3kA (正負・各1回・計2回)
3. DINレール対応
4. プラグインタイプ (点検、交換容易)
5. RoHS対応



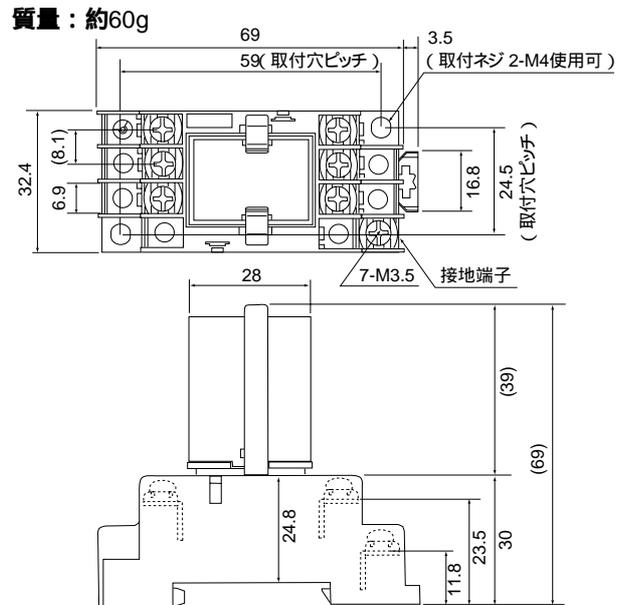
## 形式

SG - Z J

—— 最大連続使用電圧(  $U_c$  )  
12 : DC 17.0V  
24 : DC 35.0V  
48 : DC 68.0V

—— 制御電源回路用

## 外形寸法図



配線を行う場合はネジ径3.5mmの圧着端子を使用して下さい。

## 用途

形式	用途例
SG-Z12J	AC・DC共用
SG-Z24J	AC・DC共用
SG-Z48J	AC・DC共用

## 特性表

形式	最大連続 使用電圧 $U_c$ (注1)	電圧防護レベル $U_p$		残留電圧 (注2)	インパルス耐久性 8 / 20 $\mu$ s (注3)	インパルス耐久性 10 / 350 $\mu$ s (注3)	静電容量 (注4) (参考値)
		線間	対地間				
SG-Z12J	DC 17.0V	350V	350V	110V	10kA	3kA	8500pF
SG-Z24J	DC 35.0V	450V	450V	130V	10kA	3kA	3700pF
SG-Z48J	DC 68.0V	550V	550V	140V	10kA	3kA	2800pF

注1 AC回路でも使用できますが、回路電圧のピーク値より大きい  $U_c$  のSPDを選定して下さい。

注2 8/20 $\mu$ s:5kA短絡回路電流印加時 (C2)

10/350 $\mu$ s:2.5kA短絡回路電流印加時 (D1)

残留電圧:SPDが完全に動作した時の電圧

注3 2線合計での標記ですので、各ライン(1線)の値は標記値の1/2になります。

注4 条件:1MHz、1Vrms時(測定箇所線間)参考値

低圧サージ  
対策製品

JIS  
対応

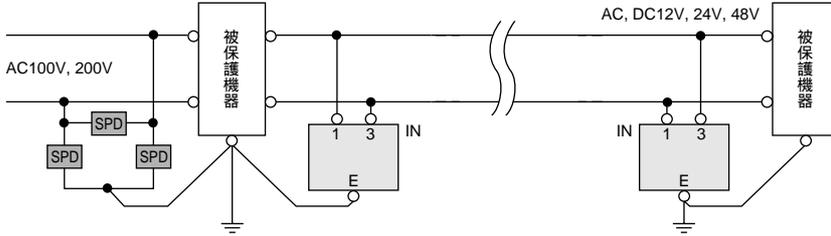
## 取り扱い

### 1. 使用例

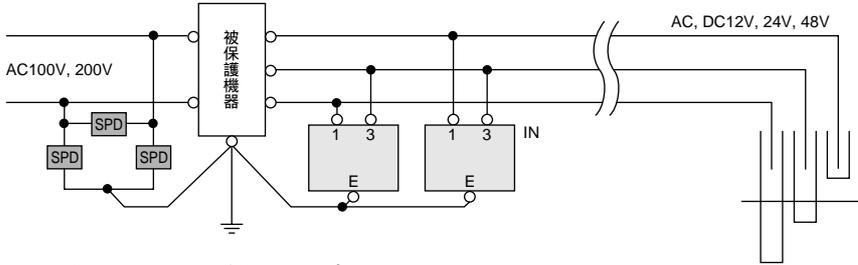
 本機を示します。

は、機器と連接接地する事を示します。

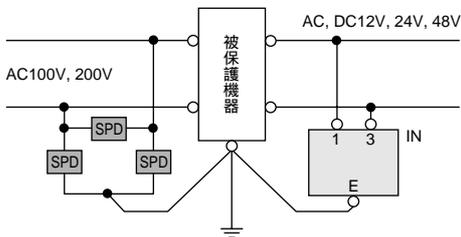
#### 1. 光電スイッチ・近接スイッチ



#### 2. レベルスイッチ、液面リレー



#### 3. 各種電源保護、スイッチングパワーサプライ



● AC100V, 200V電源には、LGLシリーズを使用して下さい。

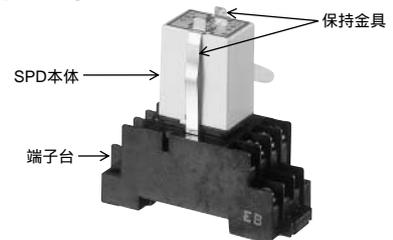
### 2. 取り付け方法

- (1) SPDはできるだけ、保護する機器の近くに取り付けて下さい。
- (2) SPD取り付けは、DINレール、又は取付穴を利用して固定して下さい。
- (3) リード線の接続に対しては、ネジ径3.5mmのSタイプ圧着端子を利用して下さい。
- (4) 本体と端子台の装着或いは取り外しについては、次の方法で行って下さい。

#### a) 装着する場合

本体貼銘板の文字の向きと、端子台貼銘板の文字の向きが合うようにして、真上から押し込んで下さい。

右図のように2つの保持金具でSPD本体を固定して下さい。



#### b) 取り外す場合

2つの保持金具をSPD本体から外します。

SPD本体を真上に引き抜いて下さい。

- (5) 端子台側面の貼銘板に明記している本体適用形式名とSPD本体形式名を合わせて下さい。これ以外の形式のものは使用しないで下さい。
- (6) 接地端子Eより、2mm<sup>2</sup>IV線を使用して接地して下さい。

### 3. 保守

- (1) メガーテストを行う場合は、SPD本体を端子台より外して下さい。
- (2) 電源電圧が異常低下した場合は、SPDの雷サージによる破損が考えられます。この場合、SPD本体を引き抜いて下さい。正常に戻ります。このような場合は、新しいSPDと交換して下さい。引き抜いても正常に戻らない場合は、他の場所の問題があると考えられます。
- (3) 動作開始電圧試験には、専用試験器としてアレスタチェッカー(SA-T7D)を用意しています。177頁を参照して下さい。